

春の県高校野球予選

フェリー欠航で玉野不戦敗

玉野市の玉原球場で8日予定されていた春の県高校野球西部地区予選「玉野―古城池」戦で、香川県・直島に住む玉野高の選手3人が、濃霧によるフェリーの欠航で球場に行けず、チームは人数不足で不戦敗となった。(24面関連)

同校の選手は計10人。1はなかなか運航され

県高野連の規定では公式戦は最低9選手がそろわねばならないが、試合開始時間の午前10時までに3人を除く7人しか球場に到着できなかった。

県高野連は開始を正午まで遅らせることにしたが、直島の宮浦港と玉野市の宇野港を結ぶフェリー

直島の3選手間に合わず

ず、午前11時の時点で玉野高側が棄権を申し入れた。フェリーが動きだしたのは午後になってからだった。

玉野高の戸田英樹監督は「事前に天気を調べ、玉野市内に泊まらせるなど対応しておくべきだった」。県高野連の宮武一土理事長は「例外中の例外。できるならプレーさせてあげたかったが」と話した。(森川進豪)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。